



止めましょう！  
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート

日本共産党議員団

2015.5.26.No.1313.

ご相談はお気軽に

TEL FAX とも **3905-0970**

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)



阿弥陀寺大仏より

昭和二十年四月私くし事阿弥陀寺  
大仏、金属供出として召集され  
戦争に行かされる事となりました。  
不殺生戒が仏の教え、殺すな生かせ、  
生かせ殺すなど説いている私が  
なんと情けなや。  
戦争はいけません。暴力はいけません。  
九条を守り、戦争も暴力もない  
仲良く平和な世界を作りましょう。

仏の嘆き願い

2015/05/18

## 会津若松市の阿弥陀寺にて

- 全国各地で「戦争法案」に反対の声が高まっています。今号では、右面の真宗大谷派(東本願寺)の談話と紹介していますが、戦争中は**金属供出**ということど、大仏様や鐘も次々と消えてしまったのだね。
- 阿弥陀寺では、戦後70年の現在に至るも、台座に大仏様は戻っていません。



4今も、台座だけが残っている

5月31日(土)  
ご1時-2時  
赤羽東口駅前  
大宣伝・署名

日本共産党北区議員団が行います。

戦争法案 真宗大谷派が反対

真宗大谷派(東本願寺)の里雄康意宗務総長は21日、安倍政権が今国会に提出した「安全保障関連法案」(戦争法案)に反対する談話を発表しました。

教団が国家体制に追随し、戦争に積極的に協力してきた歴史に触れ、その過ちを深く慙

愧(ざんき)する教団として同法案に対し、強く反対の意を表明。

「日本国憲法の立憲の精神を蹂躪(じゅうりん)する行為を、絶対に認めるわけにはいかない」として、日本の代表者に、国、人種、民族、文化、宗教などの差異を超え、互いに尊重しあえる『真の平和』を武力ではなく、「積極的な対話によって実現することを世界の人々に強く提唱する」と求めています。



2015/05/23

安倍首相の「ホッダム宣言を  
読んでいない」発言 5/20(水)の  
党首討論  
「この認識はまずい」と  
22日放送のTBSラジオ番組や24日  
放送の「サンデーモーニング」などで指摘。

26日(土)法案審議入り  
● 日本共産党は志位委員長と赤嶺政賢衆院議員がメンバーに。本日は、衆院本会議で志位委員長が賛向に立ます。

● 前号で、5/30(土)ご2時~赤羽東口での街頭演説のお知らせをしたが、5/31(日)に変更について



2015/05/23



2015/05/23

運動会 / 5月23日(土)、本町組小(上)赤羽台東小(下)で...  
新1年生も、50m走をがんばって、びっくり!!



**旧桐北小あ地この  
都営住宅建設現場  
～5月19日に撮影～**

- 通園、通学時の安全を求めて、ちょうど一年前には、この角地この“現地立合会”による交渉を重ねました。今落下防止の対策も。
- 建物の完成予定は来年の夏。最高階は13階となります。

**北区母親大会 2015年**

講演 子どもの貧困から  
みえてくるもの...  
おはなし 岸田久恵さん  
6/14(日)午後1時 赤羽北ふれあい館  
＜参加費 500円＞

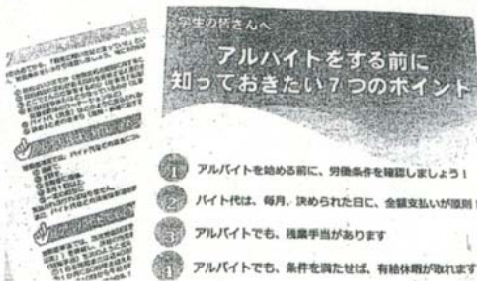
ブラック企業名  
ブラックバイト  
対策  
2015.5.26  
「しんぶん赤旗」No.1313

**全大学に配布  
厚労省が要請**

厚生労働省は18日、学生を違法・過酷に働かせる「ブラックバイト」対策の一つとして、学生アルバイトでも保障される権利や注意点などを知らせるリーフレットを、国立・公立・私立の全781大学に配布し、掲示板に張り出すなどして啓発するよう要請しました。

このリーフレットは「アルバイトをする前に知っておきたい7つのポイント」(写真)。約12万6千部作製。各都道府県労働局でも

**ブラックバイト対策のリーフ**



配布します。

「アルバイトを始める前に労働条件を確認する」で共産党、告知求める

始まり、バイト代は毎月、決められた日に全額支払いが原則▽アルバイトでも残業手当がある▽有給休暇が取れる▽仕事中のけがは労災保険が取れる▽会社都合の自由な解雇はできない...などと説明しています。

日本共産党は昨年6月、提言「ブラックバイトから学生生活を守る」を発表。国の責任で学生バイトであっても適正な労働環境にしていくべきだと主張。

学生バイトにもすべての労働法が適用されることを広く知らせることを求めました。

**野中氏 死んでも死に切れぬ  
古賀氏 恐ろしい国になった**

**自民元重鎮 首相を批判**

「死んでも死に切れぬ」(野中広務・元官房長官)、「恐ろしい国になっている」(古賀誠・元自民党幹事長)。24日放送のTBS系「時事放談」で、自民党の重鎮だった野中、古賀両氏が、安倍首相の先の党首討論での発言や「戦争できる国」づくりに敵しい言葉

過去に戦争のいかに愚かであったかという責任を国民の前でお尋ねになりましたが、安倍総理は具体的に答えようとせず、しかもボツダム宣言すら読んだことのないような「発言だった」とし、「わずかでもあの戦争に参加したことのある経験のある私がああ姿を見ておって、死んでも死に切れぬ気持ち」だと声を振り絞りました。

古賀氏は「アメリカといっしょに『後方支援』ということ地球の裏側までいけるようになる」と、極めて心配していたこと恐れていたことが党首討論の中でも一部出てきて、いよいよ特別委員

会で議論を深めていくことになりそうです。恐ろしいことだ」と語りました。

古賀氏はまた、米垂直離着陸機オスプレイの東京・横田基地配備の動きについて「地域の住民の方々に何の説明もないし、理解も得ていないままに決められる。まさに権力で決定してしまう。恐ろしい国になっていく」と「恐ろしい」という言葉を繰り返しました。

番組の最後に野中氏は「現役の国会議員にこれだけは言っておきたい」として、「歴史を真剣に勉強してもらい、古人にもう一度目を傾けていただきたい」と訴えました。

▲ 2015.5.25付「しんぶん赤旗」

**「戦争の善悪の区別がつかない首相に  
戦争法案提出の資格なし」と志位委員長**

**迫力ある国会論戦と  
「しんぶん赤旗」でお読み下さい。**

● 日刊と週一度の日曜版の2種類があります。